

エ口の本

岸陽伸

前書き

こんにちは。

岸陽伸です。

拙著「Reliverの教科書」では、エロと食べ物が人類のエネルギー源になるという話をしました。

東山岸陽伸伝説のお銀プログラムでは、発明を自身の公式サイトにアップロードしないと文明をアップデートできない仕組みをつくりました。

なぜなら、文明においてはネガティブなコントロールという、人の尊厳を尊重しない為政者が文明を支配するのを差し止めたいためです。

正しい論理の本のみによって文明を築きあげたいのです。

目次

- 第1章 児童ポルノについて
- 第2章 大人のエロについて
- 第3章 リベートについて
- 第4章 フィーについて

第1章 児童ポルノについて

何も無い場の頃から、固有の児童が人のオナニーの中心となるオナネタになることが分かっていました。

アメブロのような、日記のようなブログが人気が無いのは、野球のような主観しかない客観の欠ける記事だからです。

日記のコアは、エロBusinesses（物であるエロとお金の交換）です。

日記の格言は、音楽です。

ビジネスに載せても良いエロを売る記事を書くのがアメブロなのです。

つまり、児童ポルノはブログで売ります。

何故かということ、固有の児童は生活がありますのでYoutubeをやれるほど生活を晒せるのは一握りです。

アメブロでおちんちんやおまんこをアップした画像ではなく、全裸で一眼レフで撮った高解像度の写真・動画をアップロード・公開するのです。

第2章 大人のエロについて

大人のエロは、アメブロで売るのではありません。

コンテンツマーケットのようにアマチュアでも売れるウェブサービスで売ります。

何故かという、大人のエロはSEXが無いと何の需要も無いからです。

これは、クンダリーニの仕組みによります。

大人は、Gスポットが身体の奥にあり、突かないと活性化せず、エロ動画像にクンダリーニが映らないのです。

固有の児童は、全裸だけでもクンダリーニが映ります。

第3章 リベートについて

リベートとは、AppleのApp storeでアプリを売っても、有料で売らないと報酬が無いのですが、企業の売上、業界の売上、勝手に売った売上を著作権者に還元する仕組みです。

つまり、著作権使用料と違うのです。

UFOのように、吸い取って、ばらまくという、UFO（著作権者ではなく著作を売る人）が人気になる仕組みなのです。

リベートの著作権者への支払いは、勝手に銀行口座に振り込むだけです。

第4章 フィーについて

フィーとは、報酬ではなくお金のことです。

つまり、お金自体でお金を稼ぐ仕組みのことです。

その方法とは、先ほどのUFO（著作権者ではなく著作を売る人）を貫くウェブサービスを立ち上げ、著作を売る人たちの銀行口座を一方通行でお金を移動させるだけです。

つまり、著作を売る人たちがどこかの地点でお金が必要だったら銀行口座から下ろせば良いのです。